



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ
2020～2021 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「集う」



◆会長 村瀬 祐治 ◆幹事 岡崎 壮男 ◆会報委員長 岩本 正樹 ◆会報担当 長瀬 栄二郎

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1261 回	58 名	57 名	48 名	—	84.21%

●点 鐘

●ロータリーソング それでこそロータリー

●高山中央ロータリークラブ職業倫理基準

●ゲスト・ビジターの紹介

●会長の時間

会長 村瀬 祐治



◎3月22日(日)ポリオ根絶募金活動を青少年・インターアクト委員会、ロータリー財団委員会が主体となり陣屋前広場で開催いたしました。当日は「霽宮祭」の会場をお借りいたしました。小雨の中

でしたがポリオ根絶活動をアピールできたと思います。17000 円の寄付を頂きました。

◎高山市教育研究所「であい塾」より感謝のプレゼントを頂きました。(回覧*御礼状と記念品)卒業された子供たちが作成したものだと思います。寄贈したタブレットに対しては、2月末に改めて中野谷教育長よりお礼のご挨拶を頂きました。またタブレットの活用に対しては個別学習や情報交換に活用されており感謝されておりました。

◎5月17日に予定してりました中学校への「出前講座」が学校事業の運営上7月以降となりました。

次期の事業に組み入れて頂きたいです。

◎今年度もあと3ヶ月余りとなりました。5月には地区大会開催の予定です。メンバーが一丸となって地区大会が盛会となるようお願いいたします。

◎国際ロータリー事業 3月はロータリーの「水と衛生月間」です。きれいな水と衛生設備が利用できることは人権の一つですが、その恩恵を受けられない人は世界には大勢います。国際ロータリーは、安全な水への持続的な確保、衛生設備の改善、衛生管理の研修を提供しています。特に子どもがきれいな水や改善された衛生設備を利用でき、より良い衛生習慣を身に付けられるようになれば、その生活はよ

り健康的で実りあるものになります。ロータリーの「水と衛生月間」は、2030年までにすべての人に安全な水と衛生設備、衛生環境を提供するというロータリーの目標達成に向けた取り組みを呼びかけます。具体的な活動としては

○インドにおいてはフッ化物によって土壌が汚染された地域社会に、水浄化プラントを設置しました。
○ネパール農村地域では水を得るために毎日2.5kmを歩いて水運びをしなければならない子供も大勢いました。そこで、500人分の水を貯蔵できるタンクを設置しました。世界の多くのロータリークラブがこの事業を支持し実践しております。

●幹事報告

幹事 岡崎 壮男

◎国際ロータリー第2630地区

ガバナー事務所より

・2月クラブ会員増強報告書

◎ロータリー米山記念奨学会より

・ハイライト米山 252

○高山ロータリークラブより

・休会のお知らせ

4月15日(木)・4月29日(木)

5月6日(木)

<会報>

・美濃加茂RC

●本日のプログラム

大原 誠

2020-2021年度の会長就任まで、あと3ヶ月となりました。先日、就任を踏まえ「会長エレクト研修セ



ミナーPETS」を受講したので、本日はその概要についての話をしたいと思います。PETSは会長としての任務への準備として受講しなければならないセミナーで3月中に開催されます。今回は、3月13日(土) Zoomでのオンライン開催と



なりました。剣田ガバナーが以前、本セミナーで講演された資料では、“ロータリー・クラブ内管理機構上のクラブ会長の役割”として、“会長というのはクラブのトップリーダーである。会員の皆さんからの期待を一身に集めておられる人材である。なりたくてなれるものではない。任期が終わっても、色々な指導的役割を依頼される。それだけ皆さんは期待されているからである。任期が終わって、ただの人になっても実はただの人ではない。このことを十分ご認識いただきたい。”と述べられており、責務の重大さに身の引き締まる思いでセミナーに臨みました。PETSの参加者としては、ガバナーエレクト、ガバナー補佐、地区研修リーダー、地区内の次期クラブ会長全員が含まれていなければならないです。PETSの議題としては、

- ・ RI テーマ
- ・ クラブ会長の役割と責務
- ・ クラブの管理運営
- ・ 会員増強
- ・ 奉仕プロジェクト
- ・ その他に広報、ロータリー財団などがある。

冒頭、国際ロータリー2020-2021 会長エレクトのシェカール・メータ氏(インド西ベンガル州 Calcutta-Mahanagar Rotary Club) より次期テーマ: Serve to change Lives(奉仕しようみんなの人生を豊かにするために)について、同時通訳により講演されました。詳細は「ロータリーの友」に掲載されるので、詳細報告は省略する。今日は、国際ロータリー2630地区の浦田幸一ガバナーエレクトの講演「次期 RI テーマと地区活動方針」について話したいと思います。地区方針「つねに超我の奉仕を胸に」は、ご承知の通り、「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者最も多く報いられる」の二つの標語は私たちロータリアンの指針であります。

日本のロータリー創始者、米山梅吉氏が大きく心動かされ共鳴した言葉「超我の奉仕 (Service above Self)」があり、彼はこの言葉を「サービス第一、自己第二」と訳しました。利己のない奉仕に**利他の精神**という言葉があります。私たち日本のロータリアンはこの「利他の精神」を教えられ始まったと言えます。他者を先に重んじる考えは、日本人が古くから持ちあわせてきた心でもあります。同様の意味で「先義後利(せんぎこうり)」という教えもあります。**他者を優先し自身の利益を後にする行い。相手とも喜び自分も貢献感が得られ得心のいくもので、利益は追及するものではなく後から付いてくるもの。**このような考えは、日本人として長きに亘って社会生活の中で培われてきた倫理と高潔性の内から生まれてきたものです。ロータリーが日本に根付いて100年、私たちはこの**利他の精神**を基調とするロータリアンの「奉仕の精神」、そこから繰り広げられた活動の本質を今日まで変えることなく進んできました

た。それは、自己を成長させる意思を持つ職業人が集まり・超我の奉仕**利他の精神**を常に心に備え・友愛の精神で会員は広く結ばれ懇親を深め・ロータリーの例会はロータリー運動を支えるものとし、会員は集い、互いに研磨し、奉仕のエネルギーはそこから見出され活動へと醸成されます。日本のロータリーは、日本社会が育ててきた歴史と哲学により形成された日本の国民性や地域性に合った柔軟性ある組織です。米山梅吉氏から100年、日本のロータリーが積み重ねてきた、日本らしい**利他の精神**の活動は、これからも続けなければならない使命があるものと考えます。メータ次年度会長は奉仕をする心として超我の奉仕を説かれました。テーマ: Serve to Change Lives **奉仕をしよう みんなの人生が豊かになるために**それに対する浦田ガバナーエレクトは**つねに超我の奉仕を胸に**を表明しました。その本当の思いは**日本らしい超我の奉仕を胸に**ということ。ロータリアンがロータリアンとして、常に心に備えておく**日本らしい超我の奉仕**に、先に説明した先義後利(せんぎこうり)があります。人として当然あるべき道理をわきまえ、人が守るべき道徳を一番に考え他者へ行く。利益は追及するものではなく後から付いてくるもの。義は自分自身の行い付き詰める意味合いをもつ。**丹精込め、真心込め、誠意をもって、他者への行いが先にある**この先義後利が、日本らしい超我の奉仕に通じること。もう一つ、「ステークホルダー資本主義」という昔から日本に通じる概念を示されました。この概念は、2019年8月・米経済団体ビジネス・ラウンドテーブル(日本は経団連)が、「米経済界は株主だけでなく従業員や地域社会などすべての利害関係者に経済的利益をもたらす責任がある」とする声明を発表したことにより。実は、ステークホルダー資本主義の考えは古くから日本にある「売り手・買い手・世間の三方よし」という近江商人の経営哲学が根付いています。利益だけを追求するのではなく、お客様に満足してもらおうと同時に社会へも貢献する。社会に貢献できてこそ良い商売であるとされてきました。昔から数多くの企業で実践されてきた考え方で、ステークホルダー資本主義の概念に通じるものであります。このように「企業は顧客、従業員、地域社会、そして株主などあらゆる利害関係者の役に立つ存在であるべき」というステークホルダー資本主義においては、日本は先進国と言えるかもしれない。日本ロータリアンの先人たちが100年積み重ねてきたロータリー思想・哲学は、これからの社会に必要とされるものです。「三方よし」「先義後利」この二つの教えをとらえ、日本らしい超我の奉仕といえます。自分を見つめ、社会を裏切らず、人々のお役に立つ、そのためには奉仕をしようが奉仕をしまいが常に心に備えておくこと。

ロータリアンがロータリアンとして常に心に備え

ておくものが日本らしい超私の奉仕であります。こうした考えのもと、昨今の利益優先主義から生じる貧富の拡大、そのことから派生する数々の困窮事象の改善、それらの事象に対してロータリーは組織だって社会に対し日本らしい超私の奉仕、正しい姿勢を実践していかなければなりません。ロータリーは企業人、事業者の団体。組織だって力強く行うのがロータリー。ロータリアンは社会経済活動のなかで、何が正しいか常に問い詰め、行くべき道を見出していかなければなりません。私たちは、このことについて「4つのテスト」で常に確認していく必要があります。最後に浦田ガバナーエレクトからのメッセージとして、次の如く述べられました。

「2020-21 地区活動方針つねに超私の奉仕を胸に社会貢献ができ、社会奉仕ができ、国際奉仕に向かって行ける。日本のロータリーの先人達が 100 年積み重ねてきたロータリーの思想・哲学のもと、皆さんの素晴らしい活躍を期待しています」

●ポリオ根絶募金活動

市民や観光客に、ロータリー活動の理解を深めていただき、ロータリーの認知度や公共イメージの向上にもつなげる活動として、「雫宮祭」の開催に合わせて、3月21日（日）13:00～15:00の間、高山陣屋前広場におきまして、青少年奉仕/IA委員会とロータリー財団委員会が合同で、「ポリオ根絶募金」を行いました。



<ニコニコBOX>

私事、今年度 文部大臣表彰の栄に浴することとなりました。と、言う事をすっかり忘れていましたが、昨日、伊藤正隆さんに指摘され、感謝を込めてニコニコへ。
鷲塚 英雄

昨日は雨の中「雫宮祭」が開催されました。都竹会長お疲れ様でした。今回は「ポリオ根絶募金」を雫宮祭会場の横にブースを設置して初めて行いました。ご協力頂いたメンバーにはこの場をお借りしてお礼申し上げます。また、本日は募金箱を回しますので是非ご協力をお願いします。
下田 徳彦

先日は愛する妻の誕生日に妻より美しいお花を頂きありがとうございます。
久々野 國良

結婚記念日に、素敵な花束を頂きありがとうございます。
井之下 雄志

3/20 クラブのゴルフコンペで優勝させて頂きましたので。
三枝 祥一

古い話ですが、1/4 新年ゴルフの会を行いました。参加者 12 名でした。その会費と賞金の一部からニコニコへ。
岩本 正樹

3/20「ゴルフを楽しむ会」を開催しました。多数参加頂きありがとうございます。月に1回位は計画しますのでご参加ください。
植木 眞吾

昨日、第 18 回雫宮祭を開催させて頂きました。今出来る形で精いっぱい担がさせて頂きました。協賛頂きました方を始め皆様に感謝して。
都竹 大志

本日、所用にて早退します。
谷口 欣也